転勤せず160人退職へ

ダイハツ車体大分移転

工場閉鎖後再就職を支援　働き盛りの30代最多

ダイハツ車体（前棚市文京町）が十二月に大分県へ全面移転するのに伴い、約四六人の社員が退職することが七日までに分かった。地元で採用された社員のうち約四百人が会社とともに同県に移るが、家庭の事情で転勤できないと判断した人が退職する見通し。十二月二十六日に工場を閉鎖した後、同社は取引先企業などに働き掛けて退職者の就職を支援する予定だが、厳しい雇用情勢が続くだけに再就職先の確保は困難を極めるとみられる。

同社が今年一月に実施し、現在の社員数は約七百六十人。今春から新工場の立ち上げのため、二百六十七人が現地に赴任している。

同社は「最後まで生産に協力してくれた社員に報いたい」と、工場閉鎖後に再就職先をあっせんするため、九月から取引先などに受け入れの打診を始めた。だが、協力を依頼する企業が限られる上に、「勤務場所や賃金など条件面でマッチングできるか難しい」（総務部）と前途多難な状況だ。

ダイハツ車体労働組合の小島一良委員長は約百人あまりが自発的に退職したが、ほぼ同数を新工場の他元で採用し、六十人以上となる退職予定者については「数が多くて残業などで退職するとの説明を受けた社員が約百六十人に上った。その後、人数に大きな変化はないという。退職予定者は二十代、四十代が最も多い。「妻に転勤があり一緒に赴任できない」「後継ぎなので遠隔地に行けない」といった理由が多かった。

二〇〇一年五月に移転計画が公表されてから二年ぶりに退職した社員は約百人。

刑法犯　増加率

全国ワースト1位

検挙は発生に追いつかず

今年１―９月に県内で発生した刑法犯は前年同期に比べ9.1%増え、増加率が全国で最悪だったことが７日、分かった。刑法犯の発生が増えたのは本県を含めてわずか６府県。同じ北関東にある茨城は16.8%減、人口もほぼ同数の栃木も4.1%減となっている。検挙件数の増加率は34.6%増と全国２番目の好結果であり、県警は検挙が発生に追いつかない状況に頭を痛めている。

七日の県議会総会・安心ならし特別委員会で県警の五十嵐甫生活安全部長が明らかにした。県警刑事企画課によると、一―九月の本県の刑法犯認知件数は前年同期比二千七百六十八件増の三万三千五十五件。増加率は9・1%で埼玉の7・2%、高知の6・2%を上回った。

凶悪犯は前年同期とほぼ同じだったが、無理心中などが多かったことから、殺人は十件（66・7%）増の二十五件だった。

認知件数全体の八割近くを占める窃盗犯では、車上狙いが前年同期比九百九十八件（20・7%）増の五千八百十四件、自転車盗が同四百六十件（14・4%）増の四千四百九十四件だった。

一方、検挙件数は前年同期比二千百五十一件（34・6%）増の八千百六十七件、増加率は全国で最も多い埼玉県の41%増に続いた。検挙率は同4・8ポイント減の25・3%だった。

県警刑事企画課は「認知件数の増加率が驚異的に小さくなっていることを挙げた上で、「フートウンの理由は分からないが、今月が正念場。官民一体となった防犯対策と検挙を粘り強く進めたい」とし、不名誉な記録を返上しようと躍起になっている。

フッ素ガス漏れ発火

渋川の工場　従業員5人が軽症

七日午後二時半ごろ、渋川市大崎の関東電化工業渋川工場の７階建て化学製品棟で、フッ素ガスが漏れ出し、発火する事故があった。この影響で、同工場の７階建て化学製品棟で、フッ素ガスが漏れ出し、発火する事故があった。この影響で、同工場の作業員五人がガスを吸い込むなどして病院に運ばれたが、いずれも軽症で、全員が検査入院した。手当てを受けたのは十九歳―六十歳の同社従業員。

渋川署や同工場によると、電気分解されたフッ素ガスをためるタンク（容量五千㍑）のバルブから、ガスが漏れ出し、酸素と混じって発火したという。火事はすぐ消し止められたが、漏れ出したガスを吸い込むなどした。

高崎署の調べによると、出火当時、飯野さん（三）は自宅内にいたが、逃げ出して無事だった。近所の住民が一一九番した。

住宅1棟全焼

高崎市菊地町、農業、飯野繁二郎さん宅方から出火、木造二階建て住宅約百平方㍍を全焼した。

館林では住宅と小屋

七日午前十時ごろ、館林市青柳町、無職、舘田利子さん宅方から出火、木造平屋建てとプレハブ小屋合わせて十三平方㍍を全焼した。

自転車の女性はねられ重体

七日午前十一時二十五分ごろ、桐生市相生町の市道で、道路を自転車で横断していた同所、無職、星野栄子さん（七）＝桐生市＝が、会社員、青木義二さん（三）の乗用車にはねられ、頭を強く打って病院に運ばれたが、意識不明の重体。

同署が詳しい事故原因を調べている。

赤城など震度2

七日午後十時一分ごろ、東北から関東にかけて地震があり、茨城県の大子で震度３を観測した。本県では赤城や赤堀町などで震度２。気象庁によると、震源は鹿島灘で、震源の深さは約40キロ、マグニチュードは4・4と推定される。

その他の地域の震度は次の通り。震度２＝新里、黒保根、利根▽震度１＝沼田、桐生など。

地震少なく噴火なし

７日の群馬山

本県と長野県境の浅間山（二、五六八㍍）は七日、噴火が起こらず、火山性の地震と微動も少なくなっている。緩やかな地殻変動は見られ、気象庁は「山頂火口下小一中規模噴火が発生する可能性がある」と注意を呼び掛けている。

地殻変動観測では、山が膨らむ「山上がり」の観測が続いているが、目立った変化は見られないという。噴煙は、火口のへりから三百㍍まであるのが、同日午前七時ごろ、開放検査を行っており、今年は五月に実施している。その際は無人ヘリコプターという同工場は「安全面は配慮していたつもりだが、原因をしっかりと究明したい」としている。

フッ素は吸い込むと呼吸器や粘膜などに有害だという。同工場は半導体製造などに使う化学品を製造している。

住宅一棟全焼

高崎市菊地町、農業、飯野繁二郎さん宅方から出火、木造二階建て住宅約百平方㍍を全焼した。

館林では住宅と小屋

七日午前十時ごろ、館林市青柳町、無職、舘田利子さん宅方から出火、木造平屋建てとプレハブ小屋合わせて十三平方㍍を全焼した。

自転車の女性はねられ重体

七日午前十一時二十五分ごろ、桐生市相生町の市道で、道路を自転車で横断していた同所、無職、星野栄子さん（七）＝桐生市＝が、会社員、青木義二さん（三）の乗用車にはねられ、頭を強く打って病院に運ばれたが、意識不明の重体。

同署が詳しい事故原因を調べている。

時の話題

▽JAA館

林市青年部野菜専門委員会主催の消費者交流会収穫体験ツアーが七日、市内の農家で行われ、参加した消費者三十五人が、キュウリとトマトを収穫したりの生産者と交流した＝写真。

▽同ツアーは、生産者と消費者が交流することで、野菜引いての思いを知ってもらうため、消費者がどんな野菜を求めているかを知るのが目的。

▽同青年部メンバーの渡辺能克さん（三）＝同市花山町＝所有のビニールハウスで中玉トマトの収穫を体験。参加者はゴルフボールほどの大きさに実った果を収穫した後、早速味わっていた。

渋川の工場　従業員5人が軽症

七日午後二時半ごろ、渋川市大崎の関東電化工業渋川工場の７階建て化学製品棟で、フッ素ガスが漏れ出し、発火する事故があった。この影響で、同工場の作業員五人がガスを吸い込むなどして病院に運ばれたが、いずれも軽症で、全員が検査入院した。手当てを受けたのは十九歳―六十歳の同社従業員。

渋川署や同工場によると、電気分解されたフッ素ガスをためるタンク（容量五千㍑）のバルブから、ガスが漏れ出し、酸素と混じって発火したという。火事はすぐ消し止められたが、漏れ出したガスを吸い込むなどした。

高崎署の調べによると、出火当時、飯野さん（三）は自宅内にいたが、逃げ出して無事だった。近所の住民が一一九番した。

住宅1棟全焼

高崎市菊地町、農業、飯野繁二郎さん宅方から出火、木造二階建て住宅約百平方㍍を全焼した。

館林では住宅と小屋

七日午前十時ごろ、館林市青柳町、無職、舘田利子さん宅方から出火、木造平屋建てとプレハブ小屋合わせて十三平方㍍を全焼した。

自転車の女性はねられ重体

七日午前十一時二十五分ごろ、桐生市相生町の市道で、道路を自転車で横断していた同所、無職、星野栄子さん（七）＝桐生市＝が、会社員、青木義二さん（三）の乗用車にはねられ、頭を強く打って病院に運ばれたが、意識不明の重体。

同署が詳しい事故原因を調べている。

時の話題

▽JAA館

林市青年部野菜専門委員会主催の消費者交流会収穫体験ツアーが七日、市内の農家で行われ、参加した消費者三十五人が、キュウリとトマトを収穫したりの生産者と交流した＝写真。

▽同ツアーは、生産者と消費者が交流することで、野菜引いての思いを知ってもらうため、消費者がどんな野菜を求めているかを知るのが目的。

▽同青年部メンバーの渡辺能克さん（三）＝同市花山町＝所有のビニールハウスで中玉トマトの収穫を体験。参加者はゴルフボールほどの大きさに実った果を収穫した後、早速味わっていた。

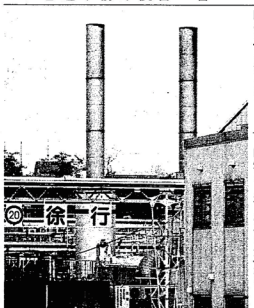
今年１―９月の県内

回った。

一方、検挙件数は前年同期比二千百五十一件（34・6%）増の八千百六十七件、増加率は全国で最も多い埼玉県の41%増に続いた。検挙率は同4・8ポイント減の25・3%だった。

県警刑事企画課は「認知件数の増加率が驚異的に小さくなっていることを挙げた上で、「フートウンの理由は分からないが、今月が正念場。官民一体となった防犯対策と検挙を粘り強く進めたい」とし、不名誉な記録を返上しようと躍起になっている。

フッ素ガスが漏れ出す　事故が起きた関東電化工業渋川工場＝7日午後5時ごろ



徐行一行

樋田容疑者は当時、同店にアルバイトとして勤めていた。売り上げを保管するため、金庫の開け閉めもできたという。

先月1日の浅間山噴火

小学校知事　前橋にとどまる

どっちが大切？

翌日軽井沢入り　県知事

赤城など震度2

七日午後十時一分ごろ、東北から関東にかけて地震があり、茨城県の大子で震度３を観測した。本県では赤城や赤堀町などで震度２。気象庁によると、震源は鹿島灘で、震源の深さは約40キロ、マグニチュードは4・4と推定される。

その他の地域の震度は次の通り。震度２＝新里、黒保根、利根▽震度１＝沼田、桐生など。

地震少なく噴火なし

７日の群馬山

本県と長野県境の浅間山（二、五六八㍍）は七日、噴火が起こらず、火山性の地震と微動も少なくなっている。緩やかな地殻変動は見られ、気象庁は「山頂火口下小一中規模噴火が発生する可能性がある」と注意を呼び掛けている。

地殻変動観測では、山が膨らむ「山上がり」の観測が続いているが、目立った変化は見られないという。噴煙は、火口のへりから三百㍍まであるのが、同日午後七時ごろ、開放検査を行っており、今年は五月に実施している。その際は無人ヘリコプターという同工場は「安全面は配慮していたつもりだが、原因をしっかりと究明したい」としている。

フッ素は吸い込むと呼吸器や粘膜などに有害だという。同工場は半導体製造などに使う化学品を製造している。

住宅1棟全焼

高崎市菊地町、農業、飯野繁二郎さん宅方から出火、木造二階建て住宅約百平方㍍を全焼した。

館林では住宅と小屋

七日午前十時ごろ、館林市青柳町、無職、舘田利子さん宅方から出火、木造平屋建てとプレハブ小屋合わせて十三平方㍍を全焼した。

自転車の女性はねられ重体

七日午前十一時二十五分ごろ、桐生市相生町の市道で、道路を自転車で横断していた同所、無職、星野栄子さん（七）＝桐生市＝が、会社員、青木義二さん（三）の乗用車にはねられ、頭を強く打って病院に運ばれたが、意識不明の重体。

同署が詳しい事故原因を調べている。

時の話題

▽JAA館

林市青年部野菜専門委員会主催の消費者交流会収穫体験ツアーが七日、市内の農家で行われ、参加した消費者三十五人が、キュウリとトマトを収穫したりの生産者と交流した＝写真。

▽同ツアーは、生産者と消費者が交流することで、野菜引いての思いを知ってもらうため、消費者がどんな野菜を求めているかを知るのが目的。

▽同青年部メンバーの渡辺能克さん（三）＝同市花山町＝所有のビニールハウスで中玉トマトの収穫を体験。参加者はゴルフボールほどの大きさに実った果を収穫した後、早速味わっていた。

今年１―９月の県内

回った。

一方、検挙件数は前年同期比二千百五十一件（34・6%）増の八千百六十七件、増加率は全国で最も多い埼玉県の41%増に続いた。検挙率は同4・8ポイント減の25・3%だった。

県警刑事企画課は「認知件数の増加率が驚異的に小さくなっていることを挙げた上で、「フートウンの理由は分からないが、今月が正念場。官民一体となった防犯対策と検挙を粘り強く進めたい」とし、不名誉な記録を返上しようと躍起になっている。

フッ素ガスが漏れ出す　事故が起きた関東電化工業渋川工場＝7日午後5時ごろ

徐行一行

樋田容疑者は当時、同店にアルバイトとして勤めていた。売り上げを保管するため、金庫の開け閉めもできたという。

先月1日の浅間山噴火

小学校知事　前橋にとどまる

どっちが大切？

翌日軽井沢入り　県知事

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。